PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

FP1091PCT-US (SR-Q)

(11)Publication number :

(61=000010)

(43)Date of publication of application : 06.01.1986

(51)Int.Cl.

(21)Application number : 59-118700

(22)Date of filing: 08.06.1984

A61K 9/70 (71)Applicant : (72)Inventor :

SEKISUI CHEM CO LTD

MURASHIMA MASATOSHI NAKAGAWA TAKASHI KISHI TAKASHI

KISHI TAKASHI ANDO MICHIHARU KOBAYASHI KAZUO IWAKAWA MASAHARU

(54) PREPARATION OF POULTICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a poultice preparation having excellent initial drug-rereasability as well as durability, by coating a surface of a substrate with a drug- containing iliquid composed of an acryfice polymer having hydrophilic group and an alkyl (meth)acryfate polymer and containing a part of said polymers in the state of coagulated fine particles, and drying the casting layer. CONSITIUTION: A mixed solution of (A) an acryfic polymer having hydrophilic group in the molecule and obtained by the copolymerization of (meth)acryfic acid and a monomer having hydrophilic group and (B) a polymer of alkyl (meth)acryfate wherein the carbon number of the alkyl group is 18112, and having a solid concentration of 15W38wt%, preferably 18W25wt%, is prepared beforehand. The solution is added with a drug, an absorbent, etc. and a poor solvent of the above polymer, and mixed under mechanical stress to obtain a liquid in which a part of the polymer is dispersed in the form of coagulated fine particles (preferably 0.5W50µm in diameter). The liquid product is applied to a surface of a substrate and dried to obtain a poultice preparation having a drug-releasing, pressure-sensitive adhesive matrix layer.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's

decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

@ B 本 日 * * * (1 p)

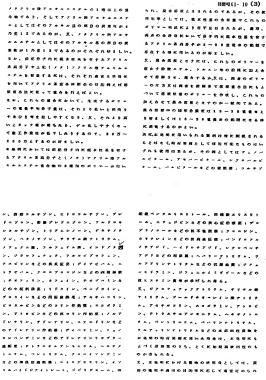
30 特胜出脚少腿

◎ 公開特許公報 (A) 昭64 10/

⊕li A		CI.	9/70		SING.	号	庁内整理番号 6742-4C		0 238	昭和61年(198	36)1月6日
	_							審査請求	未請求	発明の数	1	(全8頁)
9発9	月の	名称	貼	付製剤	何の製造	方法						
					29 特	觀	昭59-118700					
					⊕⊞	百	昭59(1984)6月8	· B				
の発	眀	者	村	島	II	. 68	大阪府三島郡	(島本町百 山	U27824			
の発	蚏	老	中	Л	額	10				•		
砂発	明	者	岸		高	17						
の発	剪	者	安	東	*	* *						
砂発	明	者	小	林	和	4						
の発	明	者	岩	Л	īF.							
ФЖ	Ø	٨	積	k化学	工業株式					,		

							49				XII				8							a	9	•					. ,														
e	99	0	2	. 4																		c	ŧ		£		,													•			
		N.	4	*	R	0		4	*	t														R	-	1 11		8	U		-	0				ш	-			,			
,	m	87	*			100																							. 44														^
Ŀ		Ð	7	- 19	ĸ		*	性	*		Ħ	+	s	,	,	,			n	. 4	+						,							_	~	~		-		,	۰	•	
																													灾	_	_	_	_	_	_				_				
																													内														
				ŧ																									er;														
																					8								N														
				Ð																	_			ŧ	\$	*	+	ě	7	,	7	*	¥	8	Œ	Ħ	ø		解		ŧ	R	n
	q	٠	L	•	۲	n	٤	8	鉄	Ł	¢	L	τ	æ	景	L		щ	Ħ	0	-		t	٠	0	254		49	公	弔	5	2	_	2	1	4	0	8	9	公	恢		*
	Œ)	ĸ	٠	票	*	×	ш	ŧ	•	٠	y	,	,	×	ŧ	Æ	MŁ	ŧ	*	š	Ł		a,	qq.	5	:	-	1	8		1	3	9	公	恢		*	m	16	8	6	_	
	Ł	٤	Ħ		Ł	+	8	糖	Ħ	製	Ħ	0		ą	ヵ	甜							6	4	1	2	#	公	恢	•	ĸ	ı		τ	90	6	n	τ	n	s	41		E
		m.	æ	Ą	٠	8	敝	4	0	16	8	Ð		Œ	ø	1	5	~	3																								
1	×		τ	٨	ŏ		R		*	•	45	m	96	,	នា	æ	•		48	#									ĸ														
,	8	0	팢	R	ヵ	t																							τ														
			8	4		*	я		ρι		m	æ	82	٨	5 7.	28	ф		ø:	22	,								ш.														
,				#																	_								燕														
				en.																									m T								0)	ц 4			-	0 1	2.
	_						-		_		-		_				-		~	^	~		•	~		,	144	-		•	,	•	,	٠,	٠,								

	特局収61- 10(≥)
据服 5 7 - 4 2 6 1 9 9公根 K 荣 される様 皮粒	クリル来再分子と(メタ)アクリル酸アルキル
子状成圧後者形態を形成し、故情君別の母隊に	エステル最白的との見台店被K、とれらのポリ
要物を充葉させたものが発揮されているが、と	マーの意志はなび薬物を曲枝のお力をに混合し、
	これらのボリマーの一部を直接させて最後業期
れは着材の一面に取けられたサスペンジョン世	
今による粒子状態圧抜者期間の調整に装むを売	拉干が现在的故事化分数した状態となした契約
異したものであるので反存時だかいても、延時	含有複状物を開発し、とれを磨状となして乾燥
的だ葉動が折出してくるという欠点があり、又、	し、妄辞の一頭状態物故出性マトリックスを形
使用時化鉄では駆時間で装物が放出されてしま	使させるととを特徴とする貼付要用の製造方法
い神段性に欠けるという欠点があり、さらには	K#+6.
後世別屋の後着性も同足すべきものでなかった。	本等明此於て用いられる分子内に現本性易を有
(AROBA)	するアクリルネ兵分子とは、アクリル歌ニエテ
本発明は上記の如き提集の貼付契別の欠点にか	ル又はメラフリル酸エステルの1種以上と、水
んがみ、初期放出性にすぐれると共に葉効特殊	使品、エーテル省、カルボキシル店、アミド港
性垂有し、かつ保存安定性だらすぐれた貼付契	毎の現水性店を有する単葉体との共変合体を展
別を提供するととを目的として研究せる前項。	味 ナ る。
この後にすぐれた船付製料を物単に製造すると	そして、上記水便店を有する単量体としてはま
との出来る方法を見い出してなされたものであ	ーヒドロキシエナル (メラ) アフリレート、ヒ
ŏ •	ドロキンプロビル(メタ)アクリレートな、ヒ
(角剪の構成)	ドロセンアルキル(メタ)アクリレートが何示
本義県の委員は、分子内に収水性基を付するア	され、カルボキシル基を有する単量体としては
A S S O D G IV. N T N C G M C C C C C C	
,	
ロータ不能和カルボン教料えばアクリル次、丿	チル、フタリル教エーエチルへキレル、フタリ
ロータ不能和カルボン取得えばアクリル吹、ノ タクリル像、マレイン酸、編ポマレイン改、マ	ルカラクリル等のアクリル酸エステルサメタク
タクリル酸、マレイン酸、無水マレイン酸、マ	ルカラクリル等のアクリル酸エステルサメタク
タクリル酸、マレイン酸、無水マレイン酸、マ レイン酸ブテルエステル等のモノアルキルマレ	ル 改 う ウ リ ル 等の ア ク リル 酸 エステル ヤ メ タ ク リル 酸 メナル、 メ タ ク リル 酸 ブ ナ ル、 メ タ ク リ
9クリル酸、マレイン酸、塩末マレイン酸、マレイン酸でテルエステル等のモノアルキルマレイン酸エステル、クマル酸、クロトン酸等が卓	ル投ラウリル等のアクリル酸エステルヤノタク リル酸ノナル、ノタクリル酸ブナル、ノタクリ ル酸ミーエケルへキレル、ノタクリル使ラウリ
タフリル田、マレイン田、基本マレイン茂、マレイン皮ブテルエステル等のモノアルキペーン イン皮ズアルエステル、ファル田のモノアルキルマレ イン取エステル、タマル康、ファトン股等が最 げられ、これらの変化の対象を代応して、ナ トリリル、タリクル等のブルカリを頂、マグエ	ル皮フタリル等のアフリル版エスアルギノタフ リル酸ファル、フラフリル版ですれ、フラフ ル酸コーステルへキレル、フラフリル酸フワリ ル等のファフリル酸エステルの(ファンアフリ ル素スアルの1番音しくはそれ以上との共業
タフリル酸、マレイン酸、酸水マレイン酸、マレイン酸、マレイン酸プテルエステル等ので、ファルカル マル はつかました。 アルン酸 中間 がられ、これらの酸化ら物はおおになって、コリウル、ロリウル等のアルカリカル、マフェレタル、ロリウル、カルレタル等のマルカリカ	が見りですか取りアリル酸スステルヤリテア リル酸リナル、ノフラリル酸プナル、ノフラリ ・酸ヨーストル・マン・リフリル酸プナル、イフラリ ・ボロンドフリル酸スステルの(ノア)アフリ ・ボニステルの1 後着しくはそれ以上との再収 もれた、8子的に最大概点を有するアフリル等
タフリル像、マレイン像、基本マレイン像、マレイン像、マレイン像アナルエステル等ので、ファルキルマンをステルをので、アカリンのでは、アカリンのではあれる。ロス・フリンの人、カリタ人、カリタ人、カリタ人、カリタ人、カロのカリンで、ステルのでからなりません。その場合は内容	小説ファリル等のアフリル酸エステルやリタア リル酸シェルル、リタフリル酸プテル、ノタフリ ・概要・エルトル・マン・リフリル酸シッド ・等のリタフリル酸エステルの(ソタ)アクリ ・版エエテルの1性高し(はそれ以上との内質 かなか、分子的K裏本程を有するアフリル等 所分子として薄薄物いられるが、上記以外のフ
タフリル像、マレイン像、繊索マレイン度、マレイン度でかれるステルギので、ファルキルマレイン度でかれるステル、ファル像、ファリン酸等が受けられ、これらの重化の側はなる代布して、アトリウム、ロリウム、カルシクトのアルリ土をリウム、ロリウム、カルシクトのアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオ	ル投ラウリル等のアクリル世エステルヤノタク リル酸メナルル、ノタフリル版プテル、ノタフリ ル酸コーエアルへキレル、ノタフリル酸クウナ ル等のフタフリル酸エステルの(ノタリ)アクリ ル酸ステルの1億者しくほせれ以上との兵閣 分所は、分子内に取る収益を有するアフリル族 現分子として海岸市いらわか、上部以外のフ リタル重合性学業体質人は容禄でニル、商職に
タフリル酸、マレイン酸、塩水マレイン酸、マレイン酸、マレイン酸でアウルスステルギのでくフルナル・マル はつかない かっと ひかっと アットン 取るがあ げかれ、これらの変化を特性の多代的じて、アリリウル、パリウル、パリウル、カット、カット、カットのアルカリン 田金銭をで中的されてもよく、そのちのは共産 は上が変化さまれるカーバインン 不成のまの モルギ 以上が変化さまれる方面が高いない。	小説ファリル等のアフリル酸エステルやリタア リル酸シェルル、リタフリル酸プテル、ノタフリ ・概要・エルトル・マン・リフリル酸シッド ・等のリタフリル酸エステルの(ソタ)アクリ ・版エエテルの1性高し(はそれ以上との内質 かなか、分子的K裏本程を有するアフリル等 所分子として薄薄物いられるが、上記以外のフ
タフリル像、マレイン像、繊索マレイン度、マレイン度でかれるステルギので、ファルキルマレイン度でかれるステル、ファル像、ファリン酸等が受けられ、これらの重化の側はなる代布して、アトリウム、ロリウム、カルシクトのアルリ土をリウム、ロリウム、カルシクトのアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオの大のアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオのアルリオ	ル投ラウリル等のアクリル世エステルやノタク リル酸メナル、ノタフリル版プテル、ノタフリ ル酸コーエアルへキレル、ノタフリル酸ラウナ ル等のノタフリル酸エステルの(ノタリ)アフリ ル酸エステルの1億者しくほせれ以上との兵閣 分所は、分子内に取る収益を有するアフリル素 用分子として減増用いられるが、上形以外のフ リタル重合性学業体料とば前限ビニル、南酸ビ
タフリル酸、マレイン酸、塩水マレイン酸、マレイン酸、マレイン酸でアウルスステルギのでくフルナル・マル はつかない かっと ひかっと アットン 取るがあ げかれ、これらの変化を特性の多代的じて、アリリウル、パリウル、パリウル、カット、カット、カットのアルカリン 田金銭をで中的されてもよく、そのちのは共産 は上が変化さまれるカーバインン 不成のまの モルギ 以上が変化さまれる方面が高いない。	が扱うのであるのアクリル酸エステルやリタクリル酸リアル、リフラリル酸プアル、リフラリル酸プアル、リフラリル酸ラフドルをファットのロリオラフリル酸ステアルのロリオラフリル酸エステルの1種名しくはそれ以上との内容のにか、カチ的に酸素性数を対するアフリル系 用ラテとして消費用かられるが、上配以外のフリアで変も性が集体例と近常数でニル、の酸にエル号のビニルスステル、ステレン、の・パード
テフリル酸、マレイン酸、塩水・レイン酸、マレイン酸、マレイン酸アナルエステルギので、ファルキのは はかまから したい のから したい できかる かっと できかる かっと できかる かっと できない できない できない できない できない できない できない できない	か扱うですべるのアフリル酸エステルやリタフリル酸ファル、リタフリル酸プアル、リタフリル酸プアル、リタフリル酸プラウルのリタフリル酸スカアルの「投資しくはそれ以上との内状のに、分子的代表を指するファリル系のテとして海岸市いられるが、上形以外のフリタで変を性を集れる人とのでは、水のでは、カース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・
タフリの後、マレイン後、数本マレイン後、マレイン度でアウルスタクル等のなくアルトルマル (リカス) かった (リカス) アリン酸 (リカス) アリン酸等が成分 (リカス) アリン酸等が成分 (リカス) (リカメルア) (リカス) (リカス) (リカス) (リカス) (リカス) (リカメルア) (リカメルア) (リカメルア) (リカス) (リカ	ル扱ファリル等のアクリル酸スステルやリテア リル酸リナル、メファリル酸プナル、メファリ ・酸ミーエナルヘキシル、メファリル酸フラリ ル等のファフリル酸エステルの(メア)アクレ ・酸エステルの「種子してけた以及との再版 られが、カデ肉に酸素は最を有するアクリル系 用分子として排物用いられるが、上部以外のフ リカー度的性質素が異なが開きてエル、の機能 ニペモのビニルエステル、ステレン、ローメナ ルステレン、プロゼレン等のローエレフォン、ブ
タフリル酸、マレイン酸、酸水マレイン酸、マレイン酸のアナルススプル等ののとファルトルマレイ とかまた、フェル酸、メリン酸を対象 げかれ、これらの産血を物はなるになるに、アナンタル、バリテム、スール・メリンのそのでは、これの自然を発音を表現しません。 ファン・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	ルスファリル等のアクリル業スステルギリタア リル数3・カル、メファリル数プテル、メタフリ ル数3・カル、メファリル数プテル、メタフリ ル等のファフリル等なステルの(ノア)アファ ル等のファクリル等なステルの(ノア)アファ の作ぶ、分子内に概念性高を有するアクリル等 お子として展布的いちいるが、上記以外のフ リカー或のピニルエステル、ステレン、ローノケ ルステレン、アフリエニトル、塩をビニル、 エテレン、プロビレン等のローエレフィン、ア リカルス・レン、インプレン等のローエレスを様は、 はの状力として有有さなととも写像である。
タフリの後、マレイン後、塩水マレイン後、マレイン皮のファルスタの電のセノフルトルマレイと変更オテル、タマの後、ファトン酸で制造 げかれ、これらの意色を物性の形式して、アリリカへ、タリタ人のライルマリスのインのインのインのインのインのインのインのインのインのインのインのインのインの	が取りですか等のアクリル酸エステルギリタブリル酸メナル、ノフラリル酸プナル、ノフラリル酸プサル、ノフラリル酸ラウザルを取りますが、カーカーのログラブル酸のフリル酸エステルの(ノア)アフリル酸のカテとして対策用からあるが、上形以外のフリルを成分をとして対策用からあるが、上形以外のフレールをでした。ステレン、フロビンシ、フロ・エケレン、アフレンはローカレールのログエルスステル、プロビン等のローオレフ・ファブレンはローオレフ・ファブレンはローオレフ・ファブレンはローオレスステルン、フロビン等のロエンススを収しまれるのは、カーカースと、プロススとなるとも可能である。
タフリル酸、エレイン酸、繊索・レイン酸、マレイン酸です。 マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を受うすりか等のアクリル酸エステルやリタクリル酸リナル、ノタフリル酸ステル、ノタフリル酸フラル、ノタフリル酸フラリル酸ランドの一般エステルの(ノタ)アクリル酸スカアルの1倍割しくばそれ以上をの内状 内分子として消費用がられるが、上形以外のフリルでは一大大力として消費用がられるが、上形以外のフリルでは一大力を大力とし、アクリーに、オーレン、ステレン、ステレン、アクリーに、サーロにレン、プロビレン等のローオレア・メン・メージ・イン・ステレン、ステレン、ステレン、ステレン、ステレン、ステレン、ステレン、ステレン、
タフリの後、マレイン後、数本マレイン後、マレイン度ですった。マルイン度アナルスファの後のとファルテルでは、ションの間のはない。 サリカル たいの間にも特はの世代的して、アンリフル、ロリラルのロリカルをは、マウエンタル、ロリラル、カルンタルのロのでのリカ、日本の中心をもれるカルルでレルのロロでのはい、アフに落を前する年後体としてはアフリルアミド、ファナルアフリルアミドのファル・イメリアコースリーのアリルアニアリルアミド、ファナアミア	ル限ファリル等のアクリル業スステルやリタアリル能力・ホナーファリル能プアル、メラフリルをファル、メラフリルをファル・ロのメラリルをファリルをファリルをステルの(ソフ)アフリルをステルのに対象があった。 本版ストルのに確認を発するアクリル系 お子として対象形がられるが、上形以外のフリティを対象を表現とは対象をは、ステレン、プリマルン、フリントではアンドではアンドではアンドではアンドではアンドではアンドではアンドではアンド
チフリの際、マレイン酸、繊索マレイン酸、マレイン酸です。 レイン酸アプトルニアの等のでくアルトルマレ くか出来ステル、フィの際、ファトン酸等が感 げかれ、これらの変化を特性の単化的じて、ア トリウル、のリウル、のマレクルのファルリンは は直接で中間をれてもよく、その場合は発 の中化さまれるエルボーレーをのマルルリン。 ス、アミド落を有する単を様々としてはアフリル フミ、ジリネアフリルブミ、ジフキルア フリルブミ、ジャイアフリルブミ、ジフキルア ンド、アリイルアンリルブミ、ジフャルア ンド、アリイルアンリルブミ、ジフャルア ンド、アリイルアンリルブミ、ジフャルア ンド、アリイルアンリーアジョ、マン・ルーア ンド、アリーアジョンで、アン・ルーア ンド、アリーアジョンで、アン・ルーア ンド、アリーアジョンで、アン・ルーア ンド、アリールで、アリーアジョンで、アン・ルーア フリルのアフリーアジョンで、アン・ルーア のボスト	が使うですか等のアクリル酸エステルやリタクリル酸リナル、ノクフリル酸フラド、ヘッシル、メクフリル酸フラド、体をのノタフリル酸スステルの(ノタ)アフリル酸スステルの(ノタ)アフリル酸スステルの(ノタ)アフリルの大力を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を
タフリの後、マレイン後、数本マレイン後、マレイン度ですった。マルイン度アナルスファの後のとファルテルでは、ションの間のはない。 サリカル たいの間にも特はの世代的して、アンリフル、ロリラルのロリカルをは、マウエンタル、ロリラル、カルンタルのロのでのリカ、日本の中心をもれるカルルでレルのロロでのはい、アフに落を前する年後体としてはアフリルアミド、ファナルアフリルアミドのファル・イメリアコースリーのアリルアニアリルアミド、ファナアミア	ル限ファリル等のアクリル業スステルやリタアリル能力・ホナーファリル能プアル、メラフリルをファル、メラフリルをファル・ロのメラリルをファリルをファリルをステルの(ソフ)アフリルをステルのに対象があった。 本版ストルのに確認を発するアクリル系 お子として対象形がられるが、上形以外のフリティを対象を表現とは対象をは、ステレン、プリマルン、フリントではアンドではアンドではアンドではアンドではアンドではアンドではアンドではアンド



特別報61-10(4)

るが、 適用使用ポリマー抗100項は個に対し、	び必要に応じて自犯吸収的削を加えて混合を行
Q 1 ~ 2 0 0 電板点の範囲から選ぶのがよい。	う際に、これらポリマーの食店様を加えるのが
さらに、木竜男にかいては、上尼芸物と弁に、	主な特徴点でもり、オブ放発器販を製加して機
放棄物の経皮吸収を促進させる作用をイナる吸	彼的応力下に混合することにより、これらがり
収め刷を用いるととも可能であり、その枚用鉄	マーの一部を凝集させて、凝集教育粒子が混合
は用いられた裏袖を信仰するに足りるせであっ	溶放中に分数した状態の要物含有限は物を閲覧
て、かつ使用ポリマー量100項乗車に対し1	†& 0 † & & .
~100収差無とくに2~25収録無の範囲と	なか、異物や必要に応じて加えられる吸収助剤
するのが好ましい。吸収的別としては何えば、	などの諸知時期は、父孫孫蔣知時の勿、同時、
ミリステン酸イソプロビル、セパシン酸ジエナ	さのいずれてもってもよく、 のは悪気楽器粒子
ル、スクアレン、スクアラン、成前パラフィン、	が分数した前記数状物中に要物等が均一に含ま
ル、スフリレン、スフリフン、REEのアフィン、 プロセレングリコール、ポリブロビレングリコ	nametanio.
	しかして、黄酢鰈としては、分子内に葉水性薬
ール、エチレングリコール、ポリエチレングリ	を有するアクリル系高分子及び(メタ)アクリ
コール、グリセリン、木、オクテルオキレステ	
フレート、ラノリンアルコール、セレルアルコ	ル皮アルキルニステル 自合物を応用しせいか求
, メナアリルアルコール、ソノナルスルル	いはその少量を応用し得ても大部分を容易する
キナイド、ロメナルホルムアミド、エナレング	ことなく形異させるにとざまる故体が用いられ、
りョールモノエテルエーテルサが非けられる。	好産な何としてはメタノール、エタノール、イ
末竜明にもとづく助付契刑の契章においては、"	ソプロペノール等のアルコールや本が挙げられ
的尼兰教服的水;——白鹿南层积长的北京协及	8.
双突溶解は前配照合溶液化解加されることによ	文部版によって不能なされヤナい部分、何えば
	灾罪既比上って不能化されやすい概念、別之以 減も分子豊の大きい概念、以党際政と誘誘する
双突部 輔壮前 配租 今郎 教代 婚 加 され ること 代 I	
双文彦様は町配張今郎旅に絡加されることによ す、現金彦族中にナマド存在している存款エナ	最も分子量の大きい低分、が食物はと接触する
双突彦輔は前起風中彦県に縁加されることによ 3、風音彦駅中にすでに存在している珍典エナ ~又は1~××ン号の高級の房房作用にはして風	乗も分子盤の大きい低分、が受防艦と接触する ことにより最後・新出し、機械的55力により度
成文部は打印起風の密泉に延加されることによ)、風の影響やにすでは存成している原動エテ ・女女け・ルエリの高端の高層が用にはして鳴 の高級中のエリーの一番と参系をしいる作用 る高級中のエリーの一番と参系をしいる作用	取も分子量の大きい低分、が皮密底と鉄筋する ことにより乗集・新出し、機械的50力により度 非しても免疫媒体によって限められた意味品度で
減食器様は肉配性中の表に体制されることにより、減る感染やにすでに存在している作品エナルメは、メニン号の高級の気料が用に戻して減る意味ののよう。マーローなど発生といる作品を行っものであり、そして何人に及行機やのチ	表も分子重の大きい低分、が食物減と映映する ことにより成集・所出し、機械の6力により使 申しても交換様によって用められた店舗表皮で は再び密解されず、最初数子となって物一に分 飲されることによるためと考えられる。
収支器は対象を含めませぬおされることによ)、最も意味やにすて比存在しているを含まっ ・ 又はシャンマの高額の気料の形にはして最 も意識中のようマーの一場を発展をしめる作用 を行うものであり、せして異なってはでして またよう複数的なカナに集みすることにより、	最も分子豊の大きい低分、が実態度と微値する ことにより展集・新出し、機械的ち力により度 押しても実際底によって限められた原路改定で はポジ密解されず、最額数子となって均一に分
	最もの子豊の大きい思り、が見密はと接触する ことにより発生・所はし、機械的のカバより 取しても実際様にコーで書かられた在職員便で は再び密原されて、最相談子となって中一に分 成されることによるためと考えられる。 なった。 最終する形式は実際構動的型の場合を 取の情報、尤指用数の位す、調報機関係やによ
は交番様は前配用の形形に検討されることによ)、最も感味やにすでに存在しているを含まっ 本又はシルン・マウの高様の名所の形にはして最 の高級中のボリマーの一様を母素でしかる作用 を行うものであり、でして何えば場所後のので 板により機能のカフドに乗りすることにより、 最高ボリー・は最近にされて現れる形がに分成 される。東京族の、裏加膚は、以下の様によってサナ	乗もの子養の大きい面分、の質器はと接触する ことにより産場・所征し、機械的の分がより度 やしても実殖所によって用かられた店舗表便で は所び優勢されて、機能が子となって物一化分 減されることによるためと考えられる。 ない、最新性子の形式は実際構造力なの最合器 取の修覧、よ過剰性の低す、製物機能等をはよって機能されることが出る。。 スの修覧、よ過剰性の形式は実際構造力なの最合器 取り修覧、よ過剰性の形式は実際構造力なの最合器 で、機能されることが出まる。又、展集機能子
	最もの子質の大きい面の、が質問性と関係する ことにより用気・所はし、機械的のおにより 取しても実際様によって得かられた無算度で は所が関係されて、機能は子となって場ーに分 まされることによるためと考えられる。 ない。 の開始子の形は皮質関係が対象の成合 取の所別、大浦用数の位下、調味機能を中によって機関されることが正式を大力 の大力をという。 ではまるためによるため、最終機能を の大力をという。 のではまるため、最終機能を の大力をという。 のではまるため、最終機能を の大力をはなった。 のではまるため、最終機能を の大力をはなった。 のではまるため、最終機能を の大力をはなった。 のではまるため、最終機能を の大力を
収支器は付前配限のお求には別されることによ)、成の数やに大すな比片でしているを設まっ ン又はケルーンやの数値の気料の形にはして最 を設まつのイリーの一項を発展をしめる作用 を行うものであり、七して同人は現とにより、 取しより無数の窓力でに乗んするとはより、 取しまり一は数値にされて扱う窓外でお力の 地域、イリー・つ種様で分子のであってから である。表表面の認知責化、数を選手や比別の 権域、イリー・つ種様で分子のでは、イラー であったが、単位の高級であって、一つ一の を表現、作りで、成分状といても成め を表現、作りでもして、成分状といても成め	最もの子質の大きい面の、の質問など接触する ことにより発生・所はし、機械ののカバより 取しても実際様にコーで増かられた底に過せて は再び密原されて、機能性となって中一に分 成されることによるためと考えられる。 なっ、動物サラの吸は実質解的効果の残る数 取り所は、元清薄板の位す、調味機能が中によって複思されることが出来る。又、回動機な って表思されることが出来る。又、回動機な の大きまは、その様がも1~500m 呼まし (は48~30pmの間目~5000m 呼まし
政 東部は前起風 中部 単に 横刻されることによ う、風 白 都 中 に すで に 存 低 し て いる 値 か エ ア メ 又 か ト ル ・ マ 中 の 医 幅 の 原 所 中 に よ し で 高 ら 窓 映 中 の ド マ ー の 一 年 と 母 条 モ し の さ の で 市 で む け っ と の に よ り 、	最もの子質の大きい面の、の質問後と関係する ことにより報告・何はし、機械的のの外により 取しても実際様によって帰るかりれた無な変で は所が関係されず、無数数子となって場一に分 がされることとはよるためと考えられる。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない
展交易様は目形起音の形形に基づけられることによ)、最も個別のにすては存在しているな情報エテル メ 又は、ハエンマの高級の名所の用にはして現 を行うものであり、そして何人に変われまりの子 形により機械的のカアに成かけましてより、 最後ボリーは他間化されて似の形形にどか依 される。表質異の裏加度は、以次を詳トが別の 構成、メリーの機関・分子機可は、であり 変数には、関は現る解析のでも成本 で表現、所聞でしたて、最か後だいかでも成本 な 別のにしたで、最か後だいでも成本 な 別のにして、最か後だいでも成本 な 別のにして、最か後だいでも成本 な 別のにして、最か後だいでも成本 な 別のでもに、最か後だいでも、	最もの子質の大きい面の、が質問など関係する ことにより発生・所はし、機械的の方がより数 利しても実際様によって得かられた無算度で は所が関係されず、機能性子となって特一に分 成されることによるためと考えられる。 ない、動物がよりの低は実際機能が数の成合を 取の所は、大利用性の位す、調味機能が多によって機能されることが収まる。又、 ではまされることが加まる。又、の無難 で入えるは、その様がも1~500mm 対すし くはも~50mm の機能のものである。 かくして、機能なれたオリマーの一部が単地機 機能子とさなれて、数ギリマーのもの部分が影
は交番様式目配用の原化・検討されることによ)、最も感味やにすで化存在しているを含まった ンズは、ルン・サウの高様の方形では、して最 の高級中のボリマーの一様を得象でしかと作用 を行うものであり、でして何人は項目機での一様である。 表現より可能のあり方でにあった。とにより、 最気ボリー・は最近化されて扱わる形件に分数 さんる。安全形の活効を引え、投資医が下が向の 構成、ボリマーの環境中分下表でによってタケ 実的であが、最近最からかのでリップ・ローの一系 を異な、所は、は、サマーの環境中分では、サウ・アルマーの一系 を異な、所は、といく、近代のでは、いても最も 高級中心の様にある。表面では、して、この最 高級中心の構成を表して、近の表面によく、一般に高 も高級中心の様と加えられる形容は、のかけまに	点もの子質の大きい面の、の質問後と関係する ことにより表生・作品し、機能的の方により表 申しても実際形にって滞められた意味変更で は所が関係されて、機能分子となって場一に分 まされることによれたしまれられる。 ない。 動物までの形式は実際機能的数の成分器 所の所に、大浦海の位で、調金機能を中によって最高をれることが出る。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す してして、使用されたボラマーの一面の面が顕微 能性子とさざれて、減イママーの一面の面が顕微 能性子とさざれて、減イママーの一面の面が顕微 能性である。
展交易様は目形起音の形形に基づけられることによ)、最も個別のにすては存在しているな情報エテル メ 又は、ハエンマの高級の名所の用にはして現 を行うものであり、そして何人に変われまりの子 形により機械的のカアに成かけましてより、 最後ボリーは他間化されて似の形形にどか依 される。表質異の裏加度は、以次を詳トが別の 構成、メリーの機関・分子機可は、であり 変数には、関は現る解析のでも成本 で表現、所聞でしたて、最か後だいかでも成本 な 別のにしたで、最か後だいでも成本 な 別のにして、最か後だいでも成本 な 別のにして、最か後だいでも成本 な 別のにして、最か後だいでも成本 な 別のでもに、最か後だいでも、	最もの子質の大きい面の、の質問など関係する ことにより相当・何はし、機械のののドエリ 数 わしてく実理様によって海のらりたな事を選ぜて は所が関係されず、機能性子となって地一に分 だされることによるためと考えられる。 ない。 動物性子の形は実際構造対象の成合物 取の情態、大利用物の位す、調如機能を中によって構想されることが出まる。 つくまさは、その様が31~500µm がまし くは42~50µm の機能のものである。 かくして、機能をれたボットの一部が重集機 総件えたざれて、までリットの他の信号が最 物を作んを限やに含むされている関係の有限状 物が関係される。
は交番様式目配用の原化・検討されることによ)、最も感味やにすで化存在しているを含まった ンズは、ルン・サウの高様の方形では、して最 の高級中のボリマーの一様を得象でしかと作用 を行うものであり、でして何人は項目機での一様である。 表現より可能のあり方でにあった。とにより、 最気ボリー・は最近化されて扱わる形件に分数 さんる。安全形の活効を引え、投資医が下が向の 構成、ボリマーの環境中分下表でによってタケ 実的であが、最近最からかのでリップ・ローの一系 を異な、所は、は、サマーの環境中分では、サウ・アルマーの一系 を異な、所は、といく、近代のでは、いても最も 高級中心の様にある。表面では、して、この最 高級中心の構成を表して、近の表面によく、一般に高 も高級中心の様と加えられる形容は、のかけまに	点もの子質の大きい面の、の質問後と関係する ことにより表生・作品し、機能的の方により表 申しても実際形にって滞められた意味変更で は所が関係されて、機能分子となって場一に分 まされることによれたしまれられる。 ない。 動物までの形式は実際機能的数の成分器 所の所に、大浦海の位で、調金機能を中によって最高をれることが出る。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す くだされることが出まる。 X、機能制能す してして、使用されたボラマーの一面の面が顕微 能性子とさざれて、減イママーの一面の面が顕微 能性子とさざれて、減イママーの一面の面が顕微 能性である。
は交際様は前起機合的液化様別されることにより、最合態体や化すで化存低している保険エット 又はりルス・9 の影場の房間が関化はして最合態状やのくりマーの一環と原発・とした作品を行うものであり、そして利人は気作機でのより、最高ポリーは無限の意力で低力へ及合能化ドンの機成メリアーの機能の表が良け、減を容器十分所の表別、その機能の表別を対してより、では、大変ないるが、また。 現る 後に できか 実動 元 る が、	最もの子質の大きい面の、の質問など関係する ことにより相当・何はし、機械のののドエリ 数 わしてく実理様によって海のらりたな事を選ぜて は所が関係されず、機能性子となって地一に分 だされることによるためと考えられる。 ない。 動物性子の形は実際構造対象の成合物 取の情態、大利用物の位す、調如機能を中によって構想されることが出まる。 つくまさは、その様が31~500µm がまし くは42~50µm の機能のものである。 かくして、機能をれたボットの一部が重集機 総件えたざれて、までリットの他の信号が最 物を作んを限やに含むされている関係の有限状 物が関係される。
収支器経対前配限の存在には別されることによ)、最合数率に大すた比存在している原因エフ となり、本との数率の実際の形ではしてな 合意数中のメリーの一両を発展をしめる作用 を行うものであり、七して同人が関すので 身により製造的窓力でに乗みすることにより、 数量ボリー・过程機化されて扱う器が一だ別の はある。表表面の基別を またる。表表面の基別を またる。表表面の基別を またる。表表面と を を は の は の に り の は の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	最もの子質の大きい面の、の質問など関係する ことにより発生・所はし、機械的の方がより数 利しても実施はよって増められた無難を設定で は所が関節されて、機能性がよって増一に分 成されることによるためと考えられる。 まのが弱、大浦海性の低す、調味機能の中によって適合されることが表する。 X、回路機力の状態で変換を設定を つく表音は、その情がは、1000円の一の一の一の くして、使用されたボッマーの一の一面が 類似できたした。 300円である。 へして、使用されたボッマーの一のの形が 類似できてされて、まだサマーの他の形が必要 患れた形状中に分散されている影響を有限状 のが固まれる。 大に出版を持ちず状体をを終せさましてを発し、
は交際域は前形風みが底に値割されることによう、最も微軟や化すで以存在しているを換率する人が対するとのでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般により、表して対しては、一般により、では、一般により、では、一般により、では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	最もの子質の大きい面の、の質問後と関係する らとにより最多・所はし、機械的のの外により数 作しても実際医によって限められた無路の形です。 対すが関係されず、無数数子となって地一に分 がされるととによるためと考えられる。 ない。 ののでは大力をはなり のであることがはまる。 大人 無数数 のであることがはまる。 大人 無数数 のであるまだ、その様がは1~500 m がまし くけなるとつきまかの範囲のものである。 かくして、使用されたボッヤーの一般が無効機 数された影響がに分かっているのである。 かくして、使用されたボッヤーの他の部分が 数された影響がに分かなれている面のかな 物の用を含まれて、 がにと思いる方数があままが、こしてを廃し、 がにと思いる方数があままがままし、 がにと思いる方数があままがまました。

	新聞報 G1- 10 (5)
せれ乗することによって整物な什の場所的なな	ナー明と、その中に分散せる農業最初粒子と
メリマー日を形成し、助け田川を取るする方は	
	ら基本的に構成されているため、主として改ま
が一般的代質用される。	集器開放子の存在によって集物の皮膚接接后へ
木井明に用いられる着材としては、ポリエチレ	の移動が容易になって放出性が改良されるのよ
ン、ポリプロピレン、エナレン・西世ピニル共	ならず、最低微細機和粒子による逆回された。
現台は、出り現化ビニル、おり放化ビニリデン。	物技能の形成や鉄粒子の内部や問題に要解の一
節数ピニルー製化ピニル共電合体、ボリアミド。	形が合有ないし吸身されるととだよって、薬を
ポリエステル、酢酸セルロース、エチルセルロ	放出的持續性も良好なるもので、すぐれた物質
ース、セロハン等の高分子は折のフィルム、ア	
	対策を期待し持るものである。さら代、末毎日
ルミニクム筋等の金銭筋、低、不殺が、我有等	にもとづく貼付製剤はマトリックス中にかける
が挙げられ、皮膚面に貼り付けて用いられるた	茶柄の保持性も良好なるものであり、長時間を
め、柔軟性及び展開不透過性を有するものが好	なしても表面への薬物の折出がなく、長存を言
ましく、又、数益対化、素物状均性マトリック	性にすぐれたものである。
スとの挟君性改良や遵護性付子等の目的のため、	この様に木亀円によれば、上配の卯をすぐれた
コロナ放電后現その他の処理を楽してもよい。	性化を有する給付契約を収換な工程を表さずし
上述の乗りの本条明方法によって関点される助	て朝年を操作により製造し、提供することがは
付契别社,基付の一面优、期记获物合作获获物が	* 5.
爵伙となされて乾燥された祭物故招作マトリッ	(以 F 参加)
クスが形式されたものであり、根マトリックス	
杜鹃枝状ポリマーが乾燥して生じた均質なポリ	
实 境何)	子がポリマー筋原筋中に均一に分散されたも
以下、本発明を実施例にもとづいて説明する。	0 T \$ 2 £ .
以下、本見引を実施例にもとづいて説引する。 カン以下にかいて思とあるのは京気印を意味す	のであった。 上起薬物含有な状物をエチレン一直酸ビエル
以下、本発明を実施例にもとづいて説明する。	0 T \$ 2 £ .
以下、本見引を実施例にもとづいて説引する。 カン以下にかいて思とあるのは京気印を意味す	のであった。 上起薬物含有な状物をエチレン一直酸ビエル
以下、本発明を実施的にもとづいて説明する。 カシ以下にかいて思とあるのは京政市を立株する。	のであった。 上記集物含有限状物をエチレン一音酸ピエル 共乳合体フィルム化量有し、10でのギャー
以下、本発別を実施的にもとづいて説別する。 なか以下にかいて無とあるのは無数部を直接する。 ある。 実施的1 ノナアクリル像ネーエナルへキレル3 Q 3 モ	のであった。 上起無物含有収 状物をエチレンー 静æピエル 共取合作フイルへ に 散布し、 7 0 で の ギャー オープンで 3 0 分類 収録 して、 厚 3 5 0 7 m の 気物合 有感圧 牧装 着 耐用 を 有 ナる 貼 付 契 所
以下、本施列を実施的にもとついて批別する。 カル以下にいて無とあるのは其成形を直接する。 5。 另施料 1 / パアファル原 1 ー エチルヘキレル 3 Q 3 Q ルチェアファル原 2 ー エチルヘキレル 3 Q 3 Q ルチェアファル原プアル 6 Q 6 をルギ、ジア	のであった。 上記略者有限状態をエナレン一部原ビニル 表別のボフイルトだ性力し、70 でのサー エーンで30 分間起動して、厚点50 /= の医物合有感圧性質者用用を有する配付到期 を考え。
以下、本発別を実施的にもとづいて説別する。 なか以下にかいて無とあるのは無数部を直接する。 ある。 実施的1 ノナアクリル像ネーエナルへキレル3 Q 3 モ	のであった。 上起無物含有収 状物をエチレンー 静æピエル 共取合作フイルへ に 散布し、 7 0 で の ギャー オープンで 3 0 分類 収録 して、 厚 3 5 0 7 m の 気物合 有感圧 牧装 着 耐用 を 有 ナる 貼 付 契 所
以下、本施列を実施的にもとついて批別する。 カル以下にいて無とあるのは其成形を直接する。 5。 另施料 1 / パアファル原 1 ー エチルヘキレル 3 Q 3 Q ルチェアファル原 2 ー エチルヘキレル 3 Q 3 Q ルチェアファル原プアル 6 Q 6 をルギ、ジア	のであった。 上記略者有限状態をエナレン一部原ビニル 表別のボフイルトだ性力し、70 でのサー エーンで30 分間起動して、厚点50 /= の医物合有感圧性質者用用を有する配付到期 を考え。
以下、米売別を実施的にもとついて説別する。 たか以下だかいて無とあるのは常見面を直接する。 ス歳何1 ノナフタリル数1ーステルへキシル1を1ペ ルチ、フタリル数ファルを見るでんち、シフ セトンフタリルグファルを見るでんち、シフ	のであった。 よ紅葉物を有様化物をホチレン一節数ピルル 具面のドフイルト化物売し、19でのペヤー オープンで30円電池して、厚さ50メー の配金合用単位性線を利用を付ける貼付資料 を含え。 かくして存られた助付資料について水化よる 転物的用水を密定した的、19時間使でに2条
以下、不利用を実施例だもとついて説別する。 たか以下だかいて用とあるのは現代用を直接する。 別期間	のであった。 上起無物を有度状物をエチレン一節後ビネル 取ら体アイケードを追称し、するでのギャー オープンで30分間を繰して、厚えちのテー の取物され感化性調整剤用をセナる助付資料 せきた。 かくしておられた助付業用について水による 転物的用水を配した所、1分間を関すなどよる まる形が出水を配した所、1分間を関するは 5、14句を用でも75でも5、皮膚部行地は
以下、米売別を実施的にもとついて批別する。 たか以下にかいて無とあるの以前費品を直接する。 ・ 実施的 1 ・ / チフタリル酸エーステルへキシルミモミ ベ ルタ、アタリル酸ブテルモモもでかる、シア モトンアクリルアミドル1 にゅんぞの前取合は エモ吸孔びアクリル酸エーステルペキンル1 エルメ・アクリル酸ブテルドミ モルダ、 / タ アクリル酸ブ・ルドミ モルダ 、 / タ アクリル酸ブ・ルドミ モルダ 、 / タ	のであった。 上起薬物を有点状物をエチレン一節酸ビネル 取当のボフィルルに整有し、18でのギャー オープンで38対策を開発して、原名50メー の医物を有成正性臓器制用を付する貼付契約 をおた。 かくして存られた助付契用でついて水だよる 原物的加水を減乏した的、17時取例で65 5、14年間で275年以上の季の大変がある。18年間による19年間にある5、18年間になる 2月間配付で1485、18月間的付で344 2月間配付で1485、18月間的付で348
以下、不利用を実施例だもとついて説別する。 たか以下だかいて用とあるのは現代用を直接する。 別期間	のであった。 上起無物を有度状物をエチレン一節後ビネル 取ら体アイケードを追称し、するでのギャー オープンで30分間を繰して、厚えちのテー の取物され感化性調整剤用をセナる助付資料 せきた。 かくしておられた助付業用について水による 転物的用水を配した所、1分間を関すなどよる まる形が出水を配した所、1分間を関するは 5、14句を用でも75でも5、皮膚部行地は
以下、米売別を実施的にもとついて批別する。 たか以下にかいて無とあるの以前費品を直接する。 ・ 実施的 1 ・ / チフタリル酸エーステルへキシルミモミ ベ ルタ、アタリル酸ブテルモモもでかる、シア モトンアクリルアミドル1 にゅんぞの前取合は エモ吸孔びアクリル酸エーステルペキンル1 エルメ・アクリル酸ブテルドミ モルダ、 / タ アクリル酸ブ・ルドミ モルダ 、 / タ アクリル酸ブ・ルドミ モルダ 、 / タ	のであった。 上起薬物を有点状物をエチレン一節酸ビネル 取当のボフィルルに整有し、18でのギャー オープンで38対策を開発して、原名50メー の医物を有成正性臓器制用を付する貼付契約 をおた。 かくして存られた助付契用でついて水だよる 原物的加水を減乏した的、17時取例で65 5、14年間で275年以上の季の大変がある。18年間による19年間にある5、18年間になる 2月間配付で1485、18月間的付で344 2月間配付で1485、18月間的付で348
以下、実施別を突縮例にもとついて説別する。 カル以下にいて届とあるのは異様用を直接する。 男無例1 パタファリル酸 エールチャーキレル 2 Q 2 Q ルタ・アクリル酸 2 T Q 1 R Q 1 R Q 2 Q Q 1 R Q 1 R Q 2 Q Q 1 R Q 1 R Q 2 Q Q 1 R Q 1	のであった。 上知葉物を有度状物をエテレン一声級ビニル 取当化ドイケルに拠点し、するでのヤマー コープンで30分類電路して、原名50メー の配金合作機圧性限者制度と有了る助付質別 せきた。 かくして符られた助付質所でついて水による 転物的加水を放したが、は物数反便で50 5、24年間で275であり、皮膚等行車は 1円間給付で1、60岁、お用質助付で3人。
以下、実施別を実施例にもとついて批別する。 まか以下にいて届とあるのは実成市を直転する。 の共和目 パチアフリルをユーエテルへモレルコミュー ルチ、アフリルをエーエテルへモレルコミュー ルチ、アフリルをファルをこれのよののは、のでは、アフリルをファルをこれのようのは、アフリルをファルを、メアフリルをファルを、メアフリルをファルを、ストアフリルをエーエテルへトレルコミルルをの 共変を至るの形の関節分では、対象がの音楽し ナル原本に、以前家の関形分では、対象がの音楽し ナル原本に、以前家の関形分では、対象がよりのを定し イエリのののファフェトップトリアル表質	のであった。 1 起端物を有限性物をエチレン一節級ビルル 対当のドフィールド型の比、10 でのペヤー オープンで3 のが関連を対して、原さ5 のメー の配金を有級反性調を利用を引う込め付款的 を考え。 かくして育られた助付業所でついて水だ2 る 概念的用水を完定した所、1 対策反映で5 5 5 4 4 時間で5 7 5 でもり。皮膚部内形な またりに2 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
以下、定物別を実施例にもとついて説別する。 カル以下にかいて無とあるのは関係用を直接する。 男無例1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	のであった。 上紅葉物を有様性物をエキレン一節酸ビネル 取ら化アイケンに整点し、70 でのがマーメープンで30 行機を輸出して、原含50 メー の形的合作機能性限度制度とで、原含50 メー かくして符られた助け実用とついてまたよる 物物的出来を確定した所、19時段技で52 メ、14時間で57 かであった。 又、50 でで37 所属を行ったアトト(以下 明本状態と近り)を行った所、無利の含素は ク、新命の変化及び前面やの物変なには解
以下、末期別を実施例にもとついて説別する。 たか以下にかいて無とあるの以及成品を直接する。 実施列 1 ノメアフリル度ユーステルヘキシルコミュベルタ・フラリル度エーステルののの まの 8 元 フリルをプテルタ 6 もでんる、シフ セトンアフリルでプテルタ 2 エルダーの共取合体 まの 8 元 ファフリル度ゴーステルペーキンルは エルダ・アフリルをプテルステルステルタ・ファ エルダ・アフリルをプテルステルステルの デカルコ 6 の の 同 10 月 2 元 元 多 の の 市 大の 6 元 1 0 形 の 同 10 分 2 元 元 多 の 市 大の 6 元 1 0 形 の 同 10 分 2 元 元 多 の 市 大の 6 元 1 0 形 0 同 10 分 2 元 元 多 の 市 ストルを 1 元 2 元 テルティナナトリ 9 人 点 5 に 1 5 日 の 2 元 ア・ア・ア・トリ 4 元 ら 5 に 1 7 ア・ア・エル 5 元 市 5 元 の 10 元	のであった。 1 起端物を有限性物をエチレン一節級ビルル 対当のドフィールド型の比、10 でのペヤー オープンで3 のが関連を対して、原さ5 のメー の配金を有級反性調を利用を引う込め付款的 を考え。 かくして育られた助付業所でついて水だ2 る 概念的用水を完定した所、1 対策反映で5 5 5 4 4 時間で5 7 5 でもり。皮膚部内形な またりに2 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
以下、定物別を実施例にもとついて説別する。 カル以下にかいて無とあるのは関係用を直接する。 男無例1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	のであった。 上紅葉物を有様性物をエキレン一節酸ビネル 取ら化アイケンに整点し、70 でのがマーメープンで30 行機を輸出して、原含50 メー の形的合作機能性限度制度とで、原含50 メー かくして符られた助け実用とついてまたよる 物物的出来を確定した所、19時段技で52 メ、14時間で57 かであった。 又、50 でで37 所属を行ったアトト(以下 明本状態と近り)を行った所、無利の含素は ク、新命の変化及び前面やの物変なには解
以下、末期別を実施例にもとついて説別する。 たか以下にかいて無とあるの以及成品を直接する。 実施列 1 ノメアフリル度ユーステルヘキシルコミュベルタ・フラリル度エーステルののの まの 8 元 フリルをプテルタ 6 もでんる、シフ セトンアフリルでプテルタ 2 エルダーの共取合体 まの 8 元 ファフリル度ゴーステルペーキンルは エルダ・アフリルをプテルステルステルタ・ファ エルダ・アフリルをプテルステルステルの デカルコ 6 の の 同 10 月 2 元 元 多 の の 市 大の 6 元 1 0 形 の 同 10 分 2 元 元 多 の 市 大の 6 元 1 0 形 の 同 10 分 2 元 元 多 の 市 大の 6 元 1 0 形 0 同 10 分 2 元 元 多 の 市 ストルを 1 元 2 元 テルティナナトリ 9 人 点 5 に 1 5 日 の 2 元 ア・ア・ア・トリ 4 元 ら 5 に 1 7 ア・ア・エル 5 元 市 5 元 の 10 元	のであった。 上起無物を有度状物をエチレン一節数ピネル 対当のボイルトに動物し、70 でのギャー オープンで30 分類を繰して、第450 / m の取物を有成態性要維制剤を有する船村資料 であた。 かくして得られた船村資料だついて水だよる 物物的ボモ会変したが、1 時間気管で18 5、3 4 時間で17 5 でもうり、皮膚部行が1 2 下もった。 又、10 でで17 月間を17 5 でもった。 又、10 でで17 月間を17 5 でより、 又、10 でで17 月間を17 5 でより、 又、10 でで17 月間を17 5 では、 以前の変数とだったが、無利の金数料
以下、実施別を実施例にもとついて説別する。 カル以下にかいて届とあるの以来の目を登載する。 男無例1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	のであった。 上起無物者有度状物をエテレン一節後でホル 表面を取了イルト化散売し、70 でのギャー オープンで30 分類を繰して、原名50 テー の影物者有底定便需要利用を申する助付資料 であた。 かくしておられた助付業用についてれたよる 転動的用本を配した所、1 時間収穫である 5、24 時間で37 5でも5、皮膚部行車は 2 時間助付で1、35%、5 時間助付で3 私よ がであった。 又、50 でで37円間保存するテスト(以下 可用に限さる7分であった。 、、1 4 時間で37円間保存するテスト(以下 可用に限さる7分であった。 、、1 4 形の合業表面が前地を合物変をは延め られたかった。
以下、実施別を実施例にもとついて説別する。 カル以下にいて届とあるの以別の目を直接する。 男題別に パラフリル酸エーエテルへキャルの 2 0 3 4 ルタ、アクリル酸アテルの0 0 0 0 ルグ、リア モトンファリルアミドミ 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	のであった。 し起薬物を有限性物をエチレン一節級ビルル お取る作了イルトに物売し、「までのイヤー エープンで3 0 分割を使用を対して、原さ5 0 メー の配金合有級反性調査利用を引う品材が開放 で表え。 かくして存られた助付質用について水に 2 る 概念的用いまを変更した的、1 対策を設定で 5 年 5、2 4 時間で 5 7 年 0 5)。皮膚部行形は 1 時間貼付で 1 6 8 5 。 6 時間貼付で 3 & 4 ダでもった。 又、 8 0 でで3 ア月間級カナるア ト (
以下、末他別を突無例にもとついて説別する。 カル以下にかいて無とあるのは現成形を直接する。 別無別 1 / アフリル度 2 ー エナルへキャレル 3 に 3 ペ ルタ、アラリル度 2 ー エナル 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4	のであった。 上起無物者有度状物をエテレン一節後でホル 表面を取了イルト化散売し、70 でのギャー オープンで30 分類を繰して、原名50 テー の影物者有底定便需要利用を申する助付資料 であた。 かくしておられた助付業用についてれたよる 転動的用本を配した所、1 時間収穫である 5、24 時間で37 5でも5、皮膚部行車は 2 時間助付で1、35%、5 時間助付で3 私よ がであった。 又、50 でで37円間保存するテスト(以下 可用に限さる7分であった。 、、1 4 時間で37円間保存するテスト(以下 可用に限さる7分であった。 、、1 4 形の合業表面が前地を合物変をは延め られたかった。

	発展収订− 10 (ロ)
所定時間後、排出限をサンプリングし、分先	比較何」
先度計で定量する。	実践何ににかけるノタノール新加を行わなか
事の集出事は以下の式で計算される。	2 先以外位实施例 1 上得几方体で容别会有效
	状物を用意し、以下実施例1と同じ力技で貼
养出来剂泉。	
業物節出率(系)= X計中の含有素料量	付製剤を作成し、テストを行った。
	なか、上記祭別合有版状物中のポリマー技物
皮膚移行率:タサギの背部を設毛形で取毛す	異な路板になってかり、凝集機関粒子は存在
ら。 股毛 4 時間後に含有來剤量既知の飲料を	していなかった。
背原に貼付する。仮定時間袋に飲料を刺し、	その研究け、水による薬物店出来は1時間是
ノッノール 商級で飲料を抽出し、飲料中の数	清でも8%、26時間で151%であり、皮
存棄剤量を高速数件クロマトグラフィーで定	用各行不住 2 時間貼什て 1 9 %、6 時間で 2 9
g + 6.	#Thota
	* # # # 2
皮膚移行率は以下の式で計算される。	
試料中の食有薬剤及一致存薬剤果	アクリル教士・エナルヘキシル10モルギ、ア
皮膚参行率(手)= 放針中の含有薬剤量	クリル政プテルちるカルダ、メタクリル放立
	· エナルヘキシルミスセルガ、ジアセトンアク
× 1 0 0	リルアマイドミモル男の共産合体90部とア
可能裁模:試料をアルミニクム指で包み、60	クリル段2~エチルヘキシル15モルギ、ア
七個福宣に入れて2ヶ月後取出して、保存後	クリル酸ブナルS3モルギ、メタアクリル酸
の状態を調べた。	2-エチルヘキシル32セルギの共産合体10
原との顕形分的 2 3 ずの酢酸エナル原育に、	が夜ミースナルヘキシル10モル乡の共芸台
届との顕影分約23季の酢原エナル器群に、 該形故の関形分100番に対し15那の飲む	ル歌ミースナルヘキシル10セルチの共立合体の関形分的23チの商級エナル筋故に、実
放売款の関形分100届に対し1580歳代	体の問形分的 2 1 多の酢酸エナル溶散に、実
政府权の関形分100届に対し15届の 歳も マグネレクム、3届のブロビレングリコール、 10届のジクロフェナックナトリクムを議論	ほの問形分的まるもの音放エナル搭放化、実 無何まと同じ食の酸化マグネレタム、プロピ レングリコール及びジクロフェナックナトリ
技術板の関節分100届に対し15局の技化マグネレタム、3級のプロピレングリコール、10個のジクロフェナックナトリウムを活加し、36Kメタノールを上配搭装中の前後エ	体の関形分的ままがの散散エテル形状化、実 機例まと同じ度の酸化マグネンタム、プロピ レングリコール及びジクロフルナックナトリ タムを無加しさらK同じ朝命のファノールを
政府状の関形分100円に対し15円の成化 マグエンタル、3階のプロビレング3コール、 10回のジクロフェナックナトリタルを高加 し、45Kメタノール第加限との合計機に対し	体の間形分的まるもの音像エナル溶放化、実 場例まと同じ最の単化マグネンタム、プロビ レンプリコール及びジクロフェナックナー タムを動しるらに同じ朝春のファノールを 添加し、以下実施例まと同様化して貼付数解
度原状の開発力100mに対し15mの変化。 マブエンタム、3mのプロセレンプ10元の変化、 10mのウラッフ・ナッフ・1974を施加 し、35にノメノールを上起酵菜中の酢除エ アルと成メフィール製工業との合計後に対エ 10m数質が企立る度だけ無加し、以下資料料	体の関節分割ままり自由 ホール部間 に、質 無利まと同じ意の命化マブミック人、ブロビ レングリュール及びリフ・フ・フ・フ・フ・トリ タ人を無加しまらに同じ組合のシャノールを 施加し、以下資格用まと同様にして助付資所 を作取し、同様のティトを行った。
政府状の関形分100円に対し15円の成化 マグエンタル、3階のプロビレング3コール、 10回のジクロフェナックナトリタルを高加 し、45Kメタノール第加限との合計機に対し	体の間形分的まるもの音像エナル溶放化、実 場例まと同じ最の単化マグネンタム、プロビ レンプリコール及びジクロフェナックナー タムを動しるらに同じ朝春のファノールを 添加し、以下実施例まと同様化して貼付数解
度原状の開発力100mに対し15mの変化。 マブエンタム、3mのプロセレンプ10元の変化、 10mのウラッフ・ナッフ・1974を施加 し、35にノメノールを上起酵菜中の酢除エ アルと成メフィール製工業との合計後に対エ 10m数質が企立る度だけ無加し、以下資料料	体の関節分割ままり自由 ホール部間 に、質 無利まと同じ意の命化マブミック人、ブロビ レングリュール及びリフ・フ・フ・フ・フ・トリ タ人を無加しまらに同じ組合のシャノールを 施加し、以下資格用まと同様にして助付資所 を作取し、同様のティトを行った。
政府状の削削分100円代別し15円の成化 マグエンタム、12回グロビレング13コール、 10回のリファフェナックトリタクを し、35にメタノーがを上配牌配中の市積エ ナルと成メタソーが加加度との合計を形別し 38質数をよる数長が開加し、以下列的 16円間にして政策を解放子がポリマー府数	はの間形分的ままがの音像ホテル密度に、実施料まと同じ意の像化マグネリラル、プロピンレングラール、及びリフ・マン・ナップ・アリア トモ新加しる6 に同じ報合のファノールを 新加し、以下実施料まと同様にして貼付製剤 を作成し、同様のアストを行った。 その様となればよる集機器出来は1時間便度
政府状の用が分100円に対し15円の成化 マグネンタル、3階のプロピレングキコール、 10円のウフロアュナックナトリケルを協加 し、さらにプラブールを上松原設中の作成エ アルと及ファノール協加度との合計機に対し 28両度をそ立る大け協加し、以下済時 1と同様にして最後数数数方がポリッ一の数数 切中に均一に分散された系命含有数状物を用	はの間形分的23多の前後エイル指数化、実 異明まと同じ者の変化マグネシウム、プロゼ レングリコール及びジクロフェナックナトリ リムを放加しる6に同じ組合のファノールを 新加し、私で実施料まと同様化して貼付割解 を作成し、同様のアストを行った。 その意光は水化よる原始的出北に1時間度 で23135、24時間で2545であり、皮
政府状の削削か 1 0 0 m に対し 1 5 m の 歳 化 マブエンタ A、 3 m の ア っピレン ア 3 フーム、 1 0 のの フ っぱっ ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体の関節分割23分の音像ホテル部版化、実施料26所以度の変化マグミックル、プロビレングリラール及いジフッフェテップ・ファックリックルを添加して5 代別じ制ののファフールを添加し、以下発解26円でにしてお付資所を作成し、同様のファントを行った。 その機能は本化よる最極的固定は1時間度度で2813年、24分間で28、24分間で28、24分間で28、36時間で1
度原状の開か分100mに対し15mの成化、 マブエンタム、3mのプロでレンプリコール 10mのジフッフ・ナック・1970を施 し、36Kリタノーで生土化原薬中の原体メー マーと成リアノーを加減とつ合計後で展大 フーとストリートを加減とつ合計後でデー 1と同様にして仮有単純なール、以下資料 1と同様にして仮有単純なールがリーの解析を 単一水の一に対して低有単純な子がポリアー所収 起し、同様にして低が展析を存成した。 これだつき質詢問12所間のアストを行った 解析は、末による物質加率は、1時間使質	体の関節分割ますの音像エテル音像に、質 歯刺まと同じ音の命化マブネック人、プロピ レングリュール及びリフッフェナップナトリ タ人を参加しまらに同じ部ののフォノールを 施加し、以下質素料まと同様化して形付割解 を作成し、同様のテストを行った。 ての意見まだよる薬物部出版社は非難度度 でまるよう。まも時間である。ま 無野代本化まの細胞材でよりま、6時間で1 よっちであった。 人、可様状態の経来は、前者用屋中の薬物料
政府状の削削分100mに対し15mの変化 マブエンタ人、15mのプロピレングリコール、 10mのリファウェナ・アナトリウへを し、45Kノメノールを上起所採中の市株工 アルと成メメノールを上起所採中の市株可利 1と同様にして表現を対象が、以下で利 1と同様にして表現を解放子がポリマー再報報 切中に向一に分散された原始を存取した。 成れてのを実施的というではした。 なれてのを実施的となった。 なれてのを実施的上を行った 様光は、米による新聞が出来し、1時間を でれたのを実施的上を行った 様光は、米による新聞の本は、1時間を で、15m。とは、15m。と	体の関節分的23分の音像ホテル指数化、実 発明3と同じ度の変化マグミシウル、プロビ レングリラール及ジジフ・ファ・ファ・ファ・フ リケールのスジジフ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ・ファ
政府原の開か分100回に対し15回の政化 マグエンタム、12回のプロビレング13回 ル、 10回のジランク・ス・オンド・199人を し、10回のジランク・ス・オンド・199人を し、10回のジランク・ス・オンド・199人を オンド・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	はの間形分的23分の音像ホテル密度に、実施料2と同じ音の像化マグネリラル、プロピレングラット表にグリッフェナップ・リケットを添加しる6代同じ報合のファノールを添加し、以下実施料2と同様化した品付製剤を作成し、別種のアストを行った。 ての相条はまだよる集価部出来は1時間便度で2点1分。2・時間で2点1分間でである。6時間で2点1分配の 2点1分配で 2点1分配で 2点1分配で 2点1分配 2
政府状の開かか100mに対し15mの変化、 マブエンタム、1mのプロでレンプリコール、 104のリファン・ナ・ア・トリタへを し、35Kノドノールを上記評談中の市陸エー ア・と成メドノール解談 このか計 名下的株 ユー エも演奏を企る品を付加が、以下労務等 1と同様にして委和集団的子がポリーの教験 変し、同様にして助け資明を存成した。 これにつき労働者1と同様のア・ストを行った 研究にして助け資明を作成した。 これにつき労働者1と同様のア・ストを行った でブ154、124時間で365でのり、皮膚移 行形は1分析 間が154、65年間で364	体の関節分割23分の音像ホテル部版化、実 機関26円に見の座化マグミックル、プロビ レングリットル及びリッフェテップトット リンスを当加し35代間に関かのシェノールを 施加し、以下発着引き円間化して貼付製所 を作成し、同様のテストを行った。 この世界はまによる最極関加度は1時間及反 で3213年、14時間で1245年の長度 度得行面は2時間記付でも75%。6時間で1 244であった。 大、関節状態の部系は、前者別用中の風物が 度能化析出し中すい機関を示すものであった。 発酵同
政府原の開か分100回に対し15回の政化 マグエンタム、12回のプロビレング13回 ル、 10回のジランク・ス・オンド・199人を し、10回のジランク・ス・オンド・199人を し、10回のジランク・ス・オンド・199人を オンド・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	はの間形分的23分の音像ホテル密度に、実施料2と同じ音の像化マグネリラル、プロピレングラット表にグリッフェナップ・リケットを添加しる6代同じ報合のファノールを添加し、以下実施料2と同様化した品付製剤を作成し、別種のアストを行った。 ての相条はまだよる集価部出来は1時間便度で2点1分。2・時間で2点1分間でである。6時間で2点1分配の 2点1分配で 2点1分配で 2点1分配で 2点1分配 2
政府状の開かか100mに対し15mの変化、 マブエンタム、1mのプロでレンプリコール、 104のリファン・ナ・ア・トリタへを し、35Kノドノールを上記評談中の市陸エー ア・と成メドノール解談 このか計 名下的株 ユー エも演奏を企る品を付加が、以下労務等 1と同様にして委和集団的子がポリーの教験 変し、同様にして助け資明を存成した。 これにつき労働者1と同様のア・ストを行った 研究にして助け資明を作成した。 これにつき労働者1と同様のア・ストを行った でブ154、124時間で365でのり、皮膚移 行形は1分析 間が154、65年間で364	体の関節分割23分の音像ホテル部版化、実 機関26円に見の座化マグミックル、プロビ レングリットル及びリッフェテップトット リンスを当加し35代間に関かのシェノールを 施加し、以下発着引き円間化して貼付製所 を作成し、同様のテストを行った。 この世界はまによる最極関加度は1時間及反 で3213年、14時間で1245年の長度 度得行面は2時間記付でも75%。6時間で1 244であった。 大、関節状態の部系は、前者別用中の風物が 度能化析出し中すい機関を示すものであった。 発酵同
政府間の開か分100回に対し上5回の変化・マブエンタ人、12回のプロピレンプリコール、10回のプロピレンプリコール、10回のプロピレンプリコール、10回のプロペナートリウムを表現を発生した。10回のプロピールを表現を表立る変化を立る変化を対し、以下マーの形式した。10回にして成的変数を作成した。10回にして成的変数を作成した。10回にして成れてのを実施的1と同様のアストを行った開発は、まによる新の新別がでカットを行った開大は、まによる新の新別がでカットを行った関で71点、10回に関係して1点にある。10回に関係であれて3点によりででは、10回に関係して1点にある。10回に関係であれて3点によりである。10回に関係と10回に対して1点にある。10回に関係を対して1点にある。10回に関係と10回に関係して1点にある。10回に関係と10回に関係した対し、10回に関係を対しませない。10回に関係と10回に対して10回に関係を対しませない。10回に関係を10回に対して10回に対しで10回に対しで10回に対しで10回に対して10回に対して10回に対しで10回に対対が対しで10回に対対はで10回に対対が対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対	体の関節分的23分の音像ホテル密度化、実施引きた同じ度の変化マグミショル、プロビンングラール及びジランマンス・アントルを かし、以下突縮引きた同様化し切めのファノールを 施加し、以下突縮引きた同様化したの方とが、 での規模は本化よる集機関加速は1時間便便で231分で、1分の形式は2時間的様は、変形的なは2時間がは、3時間が最大、関節が関心では、5年代の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽は、1分の音楽を表現といいでは、1分の音楽を表現といいでは、1分の音楽を表現といいでは、1分の音楽を表現といいでは、1分の音楽を表現といいでは、1分の音楽を表現といいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいいでは、1分の音楽を表現していいでは、1分の音楽を表現りでする。1分の音楽を表現りでは、1分の音楽を表現りでする。1分の音楽を表現りでする。1分の音楽を表現りでする。1分の音楽を表現りでする。1分の音楽を表現りでする。1分の音楽を表現りでするを含えりできえりでする。1分の音楽を表現りでするを含えりできえりできえりできえりでする。1分の音楽を表現を含えりできえりできえりできえりでする。1分の音楽を表現を含えりできえりできえ
放用限の開かか100mに対し15mの成化、 マブエンタム、3mのプロでレンプリコール 10mのリファフェナック・1970年施 し、36Kリドノールを上記評談中の市陸メー ア・と及リアノールを加減とつの計場で消費 1と同様だしたが開放し、以下一部 1と同様だして必要を解放子がポリアー所収 対して要要を解放子がポリアー所収 対しての音楽協同12円間のファントを行った があれていてあり取別では、1時間 使 でフェス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	体の関節分割ままりの酸数エマル部型に、実施すると同じ意の酸化マグネシタル、プロビレングラール及びジラッフェナップナトリク人を参加しまらに同じ部ののフォノールを施加し、以下資金と、大田原化して形付割減を作成し、同様のファントを含った。まるがであった。まる時では、まるが正さします。ならなので、まるがであった。 人、可用状態の部本は、原産剤剤剤やの販物が、関係に可能してする場合であった。 人、可用状態の酵素は、原産剤剤剤やの販物が、関係に可能してする場合であった。 人、可用状態の酵素は、原産剤剤剤やの販物が、関係に可能してする場合であった。 アカリンの表は、アカリンのようの中心をあった。

																												1	梅园	BEZ 6	1~	10	(7)	•
	2	3	蒽	泉	*) (ς.	Ħ	將	敝	o p	1 2	# #	1			K		4		. 6	*	. 2		P (u 7		6,	2 1	5 7		,	皮	*
	Ħ	L	. 1	0	Æ	0	,		,		,	,	,	٠	,	, ,							2 19											
	U	1	. 5	æ	0		t =	,	*		, ,	. *	*	to	L.		6					•		•			-	•	Ξ,	۰	-	~		-
							: £												* *			•	٠.											
							· #																											
																																	3	
		_					. L												^	*	٠	7	, ,	*	R 2	. +	*	6	Q 6	*	~	* ,	ø	7
							* 34								Rt fi	31	Ħ		+		×	7 :	, 1	r	7 :	F	9,	1	• 4	*		共 1	6	#
	ŧ	ħ	鉄	L	٠,	9 6	. 0	Ŧ	×	1	ŧ	•	ħ.						7	5	æ	٤.	7	,	, ,		2		. ,		~	+:		
	ŧ	0	Ħ	果	n,		ĸ	1	& \$			ш	*	H	1 14	-	82		*		\$. ;	.,	9	~ 1	, ,	+		5 0				,	
	故	τ	5	2	¥ .	. 2	4	9			9	*	τ	5	٠.	皮	*																	
	8	ŧ	*	et	2 8		186	#	· :	. 2	. 2	4		6 1	9 R																		# 18 :	
													ì				-																	
							-						_				_																0	
																*	Æ																0	
				•	4 8	- 15	#	16 1		, n	. 12	<i>7</i> 0•	,	t.																			/	
	数																		*	ŧ	£	E #	被	+ 4	о m		× •	٠,	ے ء	25	,	, ,		
							ž												*	χu	•	Ł e	٠	2+ 9	R K	对	L				* 8	Ł ż	8 1	*
	從	•	τ.	R :			粒	7 1	k #	t tts	ā	ť	*	ø	, Æ	빘	*		16	to.	ι,	. 4	Ŧ	* *	9	1	Ł P	1 4	ł K	L	τ.		* 1	明
	ti :	×	*	•	3 5	m	Ľ:	5 6	k T	Râ	Ħ	91	Ħ	6 1	ı ex	L																	n,	
	r	*		ŧ	F7 -	t																											** *	
	ŧ.	0	**	# (1 1		1	ă #		75	ш	M:	11	1 F4	PE	改	微																# <	
																				-		-					- •		-	-	• •	. ~		
1	,	*		t f	t o	Æ	m,	*	ĸ	ı	8 1		6 8	1 111	*	12			,	,,	, ,		~ n		_			_						
							s .																											
							9 5																# 1											
																							τŅ											
																					t	•	t o	枋	果 (t #	5 1	釈	o i		τ	8	, t	•
								*	Æ	ч.	Я :	, ,	. 7	•	Ŗ į	9 4		此	R 4															
				示	L	t.	•																, ,											
	P																		* 1	t an	12	7	k #1	ш	ž 4	2 2	*	•	t e	٤ :	献	* 1	: 3¥	
							6 /												* *															
							ģ 7												, ,												-	•	_	
H	*	*	91	4	٤	PI (: #	佚	7	w 4	6 8	ŧ		*	th 5	- At		*	* *															
							٠,											-	a e			٠.		_			_							
							- 45				_	-	,			•																		
							: 1					_				_			~ \$															
																			# 8															
							•																7											
							-				3.	3	\$. :	. 4	Ħ			* /	,	,	y .	æ	2 -	- =	+			٠,		3 (
			1	8	* -	*	,	t.	٠										\$ 0	# ;	# 4		2	0 6	* 6	Æ	n z	واد	. #	12	* *	t 91		
-	æ																		上网															
氮	ø	20	a	0	# #	9 15	#	٤١	して	. 7	,	y	~ 1		0	•			t fi															
*	•	Ł	7	,	, ,		7	<i>i</i> ,	. ,		4		* 4	0 #	R	٠		H .								_		. ~	~	,			,c .	
	~																																	
体	•	0	s	R (U 7	,	9	~ 6	,	. ,		7		٠.		Ł				•			.	•			_	_	_					
体	•	•	æ :	R (U 7	,		~ 8	. ,	*	~	7	0 1		*	Ł		8	8 0	•	R <	***	Mi s	2 33	٤	ι.	τ,	7	,	9. 4		z	-	

	×	•	• •	٠.	•		•	. 2	0	•	•	. 4	٠,	7	,	. ,	•	æ	, ,	•		果果						
	*	5	0	•	•	•	A	o	,	,	,	,	. ,				: -		. ,									
	^					۰	-		. 4		, ,	1		4	: 1	۰	0) T						
	٤	m	1 6	٠.	· N	*	12	*	*	69	6	٤	6	-		L	. 7	R3	14									
	辨		n	E 55	L	. t		£		. 49			, m					- 20	*	к		Æ						
	7		. ,		ż	*	*	to		s.		- 60					68		100	9		_	•					
																						_						
	-			•	-		12	•	^	,	. 20	В	×	. 5	•	*	-	47	100	0		*						
	解	Ħ	*		6	n	ħ	•														*						
×	×	9	7																			Ħ						
	挥	٠	-	級		*	彩	家	#	Ł	L	τ		e	F		*	v	×	+	- 1	批	•					
										۰											- 1	*						
																					Į	-						
	+	r	9	0	٠	*	*	0	#	蒽	ø	4	9	٥	Œ.	A	v	7	,	"								
	*		7	+	*	8	۰	•	*	*	Ł	,	,	,	"		•	2	-	*								
	+	*	~	٠	,	*	2	•	•	*	*	ø	д	TK.	0	#	1	0	er.	ŧ								
	旭	'n	8	N	*	H	*	*	9	1	Ł	F		ĸ	L	τ	AS	#	90	AH								
	ŧ	fr	,	*	4:	10	ŧŧ	×	R	٤	17	,	Æ		ŧ		67	景	**	95								
	ı	表	•	æ	,	τ		,	£																			
	_	ø																										
·	•	"	•																									
	Œ,	٠	88	权	ĸ	,	*	,	-	×	4	×	20	æ	T		育	2	τ	#								

æ	1	R '	
_		* * *	· · · · · ·
		1時間後後(多)	24時間提徵(多)
*	5	6.1	0.0
*	•	6.0	9 1
~	7	5.3	9 2
比較	5 ,	5.1	164
à [7	4.8	1 5.7

特群出联人 费本化学工度株式会社 代数者 斯 名 美 和